

報道関係者各位

平成 27 年 3 月 27 日

## 浜なしの授粉は約 2 週間 実を結ぶための大切な作業

横浜市内の梨農家では、梨の開花に合わせて授粉作業の準備を始めます。今年は平年並みの時期の4月上旬からの作業開始になる模様です。畑に広がる梨の花が望めるのもこの時期だけです。

凡天で花粉を一つひとつの花に付けていきます。細かい作業であり、花が咲く約2週間で終えなければならないため、家族総出で作業が進められます。花粉を自家で採取し、開葯器を使って取り出す農家もあります。また、最近では果樹溶液を使って授粉を行う農家もあり、この溶液を使えば、花に露が残っている降雨の翌日でも作業が可能な他、着色で散布の有無が分かりやすい利点があります。

横浜ブランド農産物「浜なし」を8月から9月にかけての販売へ向け、市内の農家が地道な作業を続けています。

### — 取材について —

■取材をご希望される場合は、ご連絡をお願いします。

○連絡先 JA横浜 広報課（担当：平岩・福井 045-414-0010）